

2024年度山梨学院短期大学学生チャレンジ制度 認定企画一覧

1. 企画タイトル「スイーツで広がる地域の輪」

■スイーツの美味しさで繋がり隊（7名）

■代表者：食物栄養科2年 塩島みさ

■企画目的・概要

子ども食堂の役割は支援から交流まで多くの幅広い目的があるが、地域での交流に関しては多くの課題がある。多くの子ども食堂においては材料費や食材の関係から、食後の手作りのスイーツを提供しているところは少ない。加えて最近の食材料費高騰から一般家庭からの食支援が減少し、スイーツの支援が少なくなっている。そこで実際に運営している子ども食堂と連携し、幅広い世代に喜んでもらえるスイーツを提供し、地域内世代間の交流を持つ機会としたい。

幅広い世代が美味しいと思えるおやつを開発するために実際にこども園や高齢者施設、製菓業で働いている卒業生に指導をお願いし、製菓技術の向上を目指すと共に多世代間の交流も実施する。そこで開発したスイーツを毎月第2土曜日に開催されている晴れ食堂（甲府市中央・暮らしの保健室運営）において製作し、提供しつつ多世代間の交流の場とする。その過程でアレルギー対応や嚥下食などの対象者のニーズについての共有も深める。

▷実施期間：2024年7月～2024年12月

2. 企画タイトル「美味しさで広める農福連携」

■鈴木（耕）ゼミ（4名）

■代表者：食物栄養科2年 堀内陽介

■企画目的・概要

連携先のファームは就労継続支援B型の4事業所に業務委託されている。山梨の野菜を作る作業で、障害者やひきこもり状態の方が自らの得意不得意を理解し、作業効率向上をはかっていて、協同して作業することで自分たちのプラスになる。美味しい調理法で料理や製品を開発することで農産物に付加価値がつき、フードロス削減、年間を通して仕事の創出が可能になる。具体的な食材としては甲府市の伝統野菜「長禅寺菜」があげられる。長禅寺菜は山梨県障害者就農促進協議会と山梨県農業技術センターの協力で、連携先のファームを含む県内の5事業所が栽培、道の駅・保育園・幼稚園等に納品したり、マルシェや直売会で販売、保育園、小学校では食育活動も展開、種を守り、高品質の野菜を育てることで伝統野菜の継承と生産性の向上につながっている。他にはトマト、椎茸、干し芋など多くの製品があり、これらの野菜を使用して美味しい料理を作り農福ランチによって農福の理解促進を目指す。収穫体験を実施するとともに、地域のコミュニティの活性化にもつなげる。

メンバーにはいないが福祉に興味がある保育科の学生にも参加を仰ぎたい。

▷実施期間：2024年7月～2024年12月

3. 企画タイトル「自然環境を生かした造形ワークショップの展開」

■加山ゼミ（11名）

■代表者：保育科2年 尾崎綾音

■企画目的・概要

愛宕山こどもの国・アルテア子ども館などの施設において、小学生以下の子どもを対象に加山ゼミ所属学生主催の造形ワークショップを行なう。山梨学院短期大学保育科は公益財団法人山梨県青少年協会との連携協定を結び、加山ゼミでは愛宕山こどもの国での造形ワークショップを定期的に行っていく。愛宕山こどもの国の豊かな自然を造形的な視点から感じられるよう「自然環境を生かした造形ワークショップの展開」をテーマとして検討・実践する。自然環境と表現活動のつながりを感じられるような題材検討や、子どもへの支援のあり方について考察し、卒業レポート発表会に向けてまとめていく。また、事前申し込み不要・自由参加の形式で行っていく。昨年度2月に行った活動では、事前告知を見て県外から来てくれた親子が多くみられた。また、愛宕山の自然環境でのびのびと遊んだ後に、イベントを実施していることに気づき参加してくれる子どもたちも多かった。昨年は親子での参加が前提であったが、今年度は子どものみでも参加することが出来るため、子ども同士の関わり合いが生まれることも予想される。

▷実施期間：2024年7月～2024年11月